

住まいるニュース vol.28

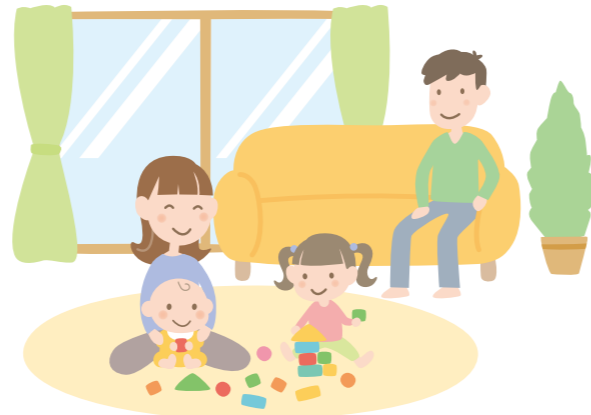
暮らしに役立つ情報満載! 2013 2月号

発行: 株式会社 FPコーポレーション
(本社) 〒007-0842 札幌市東区北42条東15丁目1番1号 栄町ビル
TEL: 011-741-3382 FAX: 011-751-5319

特集

すくすく元気に育てたい

子育て世帯の家づくり



住まいるニュースでは、暮らしに役立つ話題をご紹介します!
今回は、子育て世帯の住まいづくりのヒントをご紹介します。

子どもたちが心身ともに健康に育つには、どのような家が理想的なのでしょうか。今回は、居場所づくりや年齢に応じた程よい距離感など、子どもの成長とともに暮らす住まいの考え方を紹介します。

●幼児期は和室が大活躍、小学生は部屋に安心感を

子どもが安心してすくすくと育つには、特に赤ちゃんから幼児期までは親と一緒に時間を大切にしたいもの。この時期は、使いやすく居心地の良い和室があると大活躍します。親子で一緒に昼寝をしたり、畳の上で遊ぶのもよし。転んでもケガの心配が少なく、様々な用途に活用することができます。

小学校低学年ごろまでは、学校の宿題なども親のそばでしたがる子が多いようです。書斎を親子で使えるように工夫するのも良いですね。子ども部屋を与える時期は家庭によってそれぞれですが、例えば親の寝室

に隣接させるなど、家族の見守りや安心感を感じながら、少しずつ一人立ちができるような環境が望ましいと言えるでしょう。

●思春期の子どもたちと、程よい距離感をつくるには

小学校高学年から中学校入学頃になると、家の中にも個人のプライバシーが必要になってきます。とはいえ、子どもが部屋に閉じこもったり、家族が帰宅しても互いに気づかないような状態は避けたいもの。子どもが玄関から個室に直行するのではなく、リビングを経由したり、家族の気配がそれとなく伝わるプランニングが理想的です。家族一緒に個人かふたつだけで空間を考えず、遠くに家族の姿が見えたり、声や気配が聞こえたりと、プライバシーに濃淡をつけることで、住まいの暮らし方がぐっと豊かになるでしょう。

個室を簡素にするのもひとつ。勉強に集中できる環境を作りながら、なるべく部屋の外

に出る機会が生まれるよう、あえて「至れり尽くせり」にしないことも有効です。

●子どもたちの居場所づくりと、共有空間の充実が大切

子どもたちが大好きな「かくれんぼ」のように、小さい子は家の中のちょっとした隙間の空間や、居心地の良いと思う場所を見つけるのが得意です。子ども部屋だけでなく、家の中のあちこちに子どもの居場所になる場所があると、暮らしが楽しくなります。階段の段差を利用して、腰掛けたり遊んだりできるスペースをつくったり、図画工作の作品を飾るスペースを設けるのも良いでしょう。

リビングをはじめ、家族みんなで集まる場所は魅力的にしたいもの。顔を合わせる機会が多いほど、子どもの表情の変化にも気づくこともできます。家の様々な工夫と空間づくりを通して、子どもたちとの暮らしを豊かなものにしてはいかがでしょうか。

なるほど!

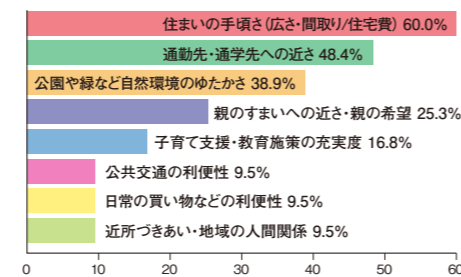
納得ノート

第28回

子育て世帯が住まい選びで重視するのは

子育て世帯の住まい選びは、どのような点が重視されているのでしょうか。一例となるデータをご紹介します。6割を占めるのが、広さや間取り、費用などの住まいの傾向。次に通勤先・通学先への近さ、公園などの自然環境の豊かさが続きます。転居の理由を尋ねた別の質問では、住宅の手狭さ、子どもの就学のタイミングが上位に。長く住まうには、子どもの成長に合わせて柔軟に対応できる住宅が望ましいといえるでしょう。

《子育て世帯向け》住まい選びで重視した項目



(その他の回答)
公共施設利便性 5.3% / 地区内のまちなみや景観 4.2%
地区内の防災対策の充実度 1.1% / その他・無回答 6.4%

東京都品川区 八潮地区における子育て世帯向けアンケート調査結果
複数回答(3つまで) (平成21年7~8月)

家づくりの知恵袋



第28回 平屋建て住宅

近年、注目が集まっている平屋建て住宅。伝統的な様式でありながら、現代の生活でも様々なメリットが挙げられます。比較的費用が割安となること、上階がなく、地震災害などの被害を受けにくいことに加え、屋内の移動が楽になり、バリアフリーとの相性も良いことがポイント。マンションへの住み替えを検討する人にとってはもう一つの選択肢であり、高齢者に限らず、若年層でも暮らしやすさを支持する人が多いようです。

外の自然との連続性を暮らしに取り入れやすいこともメリット。縁側やデッキなどで庭と屋内をつなぐと、半屋外の豊かな空間が生まれます。天井を高くすることも容易なので、高さを少しずつ変えて空間に変化をもたせるのも良いでしょう。家の中心部や北側は、天窗や高窓での採光が効果的。障子やガラスなど、建具を通して柔らかな光が入る部屋にするのも魅力的です。

我が家のお悩み診断!

Dr. 住まいる

今月の相談 気になる! 冬の住まいのほこり対策

Q. しばらく掃除をしたと思っても、気がつくともたたまっている家の中のほこり。ほこりをなるべく減らすには、どうしたら良いのでしょうか?

A. 冬は屋内のほこりが目につきやすい季節。放っておくと、アレルギーの原因になることもあります。毎日、空気のきれいな朝のうちに窓を開けて、ほこりの多い室内の空気を入れ替えましょう。じゅうたんはほこりが舞い上がるので、掃除機を使うときは排気にご注意。ふとんやクッションもほこりを吸収しやすいので、中身を定期的に取り替えるのが良いでしょう。

聞いて納得! アイデア暮らしのアイデア 第28回

今月のアイデア 髪を早く乾かす方法

お風呂上がりの髪の毛は、ドライヤーだけでは乾くまで時間がかかるもの。そんなときは、濡れた髪にタオルを巻き、その上からドライヤーをかけてみましょう。タオルで覆った髪の毛の水分が吸い込まれると同時に、ドライヤーの熱で蒸発することで、乾くまでの時間を大幅に短縮することができます。また、浴室近くは蒸気が多いため、換気を十分行うか、別の場所に移動すると、さらに乾く時間を短縮することができますよ。



おうちで気軽に始めよう!

住まいる風水

第28回 立春の風水



風水における一年のはじまりが「立春」。その年の新しい運気が始まる日とされ、この日を気持ちよく迎えられるかどうかで、一年の運気も大きく左右されると言われています。年末での大掃除で片付かなかった不要品が残っている場合は、立春の日までにあらかじめ処分しておく、新鮮な運気を取り入れることができます。

また、立春から新しい持ち物や身の回りの道具を使い始めるのも吉。身につける物や使う物から新しい運気

のパワーを取り入れることで、心身がリフレッシュされ、良い影響が期待できます。それぞれ、仕事運なら筆記具やカバン、家庭運なら食器、金運なら財布や貯金箱など、取り入れたい運気に合わせて持ち物を新調すると良いでしょう。

風水上の春は、金運を引き寄せる季節でもあります。この日の朝日を浴びると金運が高まるとも言われるので、立春の朝は早起きに挑戦するのも良いのではないのでしょうか。